

グリーン・ツーリズムは何のために取り組むものなのでしょうか？
 目指すべきは、農山漁村に国内外の観光客を受け入れることによって地域の活性化を図ること。
 農山漁村ならではのリフレッシュや癒しの力を、国内外から訪れる観光客に提供すること。
 地域ならではの新たなビジネスとしての「観光地域づくり」に取り組むことで外貨を稼ぎ出すこと。
 これからのグリーン・ツーリズムのあり方について考える、全道フォーラムを開催します！



■都会(ビル群)と■農村(畑のネットワーク)を○熱い交流で繋ぐ。
 北海道グリーン・ツーリズムフォーラムの思いをシンボルにしました。



実行委員長メッセージ

今、日本の人口減少が大きな社会問題とされ、過疎地域ほどその影響は大きいと考えられます。美しい農村風景や安心安全な食糧が生産されている農村こそ大きな役割を果たすべき時代と考えます。
 グリーン・ツーリズムは20年以上前から取り組まれてきましたが、残念ながら地域を支えるまでには至っていません。しかし、海外などの先進事例とみるとその可能性はまだ多く、北海道の農村の活力を発揮する可能性は十分あると思います。今後、それをどう発揮できるか、この交流会を通して学び、刺激を受けチャンスをつかみましょう。

北海道グリーン・ツーリズムネットワーク会長 山岸 宏



ようこそ鹿追町へ

北海道グリーン・ツーリズムフォーラムが、ここ鹿追町において開催されますことは、誠に喜ばしく心より歓迎申し上げますと共に、このたびの鹿追町でのフォーラムの開催にあたり、山岸実行委員長をはじめ北海道グリーン・ツーリズムネットワーク会員の皆様など、多くの方々に敬意を表します。

さて、鹿追町では基幹産業である農業と観光を中心に「活きて(経済の発展)生きる(福祉の増進)」まちづくりを推進していますが、農業は畑作と酪農が中心で平成26年度の産出額は約186億円になります。近年では、環境問題を重視して建設したバイオガスプラントを中心に家畜糞尿の適正処理や余熱熱を利用したチヨウザメの飼育やマンゴーの栽培なども行っています。

また、一昨年ジョパークに認定された然別湖周辺を中心には毎年80万人を超える観光客が訪れています。一方、古くから都市住民との交流を図る取り組みとして農家民泊や農家レストラン、農業体験などが盛んに行われており、町の観光資源として大きな役割を果たしています。
 こうした観光資源であるグリーン・ツーリズムの発展は、今後の町づくりの大きな原動力になるものと期待しております。

本フォーラムに参加されました皆様方のご健勝とグリーン・ツーリズムの更なるご発展を心からお祈り申し上げます。歓迎の言葉とさせていただきます。

鹿追町長 吉田 弘志

- 主催/北海道グリーン・ツーリズムフォーラム&交流会inしかおい 実行委員会
- 共催/北海道グリーン・ツーリズムネットワーク、十勝グリーン・ツーリズムネットワーク、NPO法人北海道ツーリズム協会、鹿追町、JA鹿追町
- 後援/農林水産省、北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道、北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、北洋銀行、北海道銀行、帯広信用金庫、北海道観光振興機構、NPO法人コミュニティシンクタンクあうず
- 参加のお申し込み/所定の「参加申込書」に記入して、以下のフォーラム事務局宛にお送り下さい。
- ◎フォーラム事務局 (株)北海道宝島旅行社 鈴木宏一郎
- ◎E-mail:suzuki@h-takarajima.com Fax : 011-252-2117
- ◎「参加申込書」のダウンロードは以下からお願いします。
 ・http://hokkaido-takarajima.com/pdf/hgtf2015.pdf
 ・fbページ「北海道グリーン・ツーリズムフォーラムinしかおい」

ビジネスチャンスは農村にあった。



GREEN TOURISM
 FORUM HOKKAIDO
 in SHIKAOI



北海道グリーン・ツーリズムフォーラム in しかおい

日時:平成27年11月12日(木)・13日(金)・14日(土)
 [フォーラムは13日(金) 13:00~17:30]

フォーラム会場:鹿追町民ホール
 鹿追町東町3丁目2番地 tel.0156-66-3300

スケジュール

11月12日(木)

- 17:00 割り振られた宿泊先のファームインにチェックイン各オーナーの送迎で「カントリーババ」へ
 - 18:00～ 前夜祭(先着60名限定/参加費3,000円)「コテージ&レストランカントリーババ」にて
 - 19:30～ 2次会/鹿追町の夜のマチへお送りします! 飲食後はタクシーに乗り合いで各宿へ
- ◎宿泊は、鹿追町自慢のファームインに分宿!!(先着60名限定/1泊朝食付5,000円)
「大草原の小さな家」「カントリーババ」「藤田牧場」「三部牧場」「村瀬農場」

11月13日(金)

- 9:00～11:00 しかおいオプションツアー① 3コース

藤田牧場 酪農体験

ヨーロッパの景観イメージをベースに、牧場としての伝統的な生活リズムを取り入れたホルスタインデリーファームです。個性的な2棟のコテージは、週末の宿泊から長期滞在まで可能な設備を完備しています。牧場



体験では、子どもから大人まで、ご家族で楽しんで学習できるメニューを用意しています。

ガイド/藤田牧場
参加費2,100円(40名限定)
(所要時間90分)

ジオパークツアー

火山と凍れ(しばれ)が育む命の物語。然別火山群の噴火活動と然別湖の誕生。その歴史的自然現象と道内でも極端な寒冷気候が造りだしたこの地は「氷期の博物館」と呼ばれています。とちか鹿追ジオパークは、他に類を見ない「凍れ」のジオパークとして認定を受けています。



ガイド/ボレアルフォレスト
参加費4,000円(20名限定)
(所要時間120分)

乗馬体験

鹿追町ライディングパークは、道内でもめずらしい乗馬体験ができる道の駅です。ベテランのスタッフよりきちんと調教された従順なクォーターホースがメインで、初心者でも安心して楽しめます。また道の駅内には、全国



でも数台しかない、ライディングシミュレーター(馬実物大)も設置されています。

ガイド/鹿追町ライディングパーク
参加費3,600円(20名限定)
(所要時間90分)

- 12:00～ フォーラム受付開始(鹿追町民ホール)
※各自昼食後にお集まりください。
- 13:00～17:30 「北海道グリーン・ツーリズムフォーラムinしかおい」
～先着500名限定(資料代1,000円)
- 18:00～ 「大交流会」～先着300名限定(参加費4,000円)
～鹿追町の地元自慢の料理&人のご馳走をお楽しみください!

【移動についてのご注意】

- 11/12(木) 17時にチェックインのファームインまでの移動はご自分でお願います。
- 11/13(金) AMのオプションツアーとフォーラム会場の鹿追町民ホールへの移動はご自分でお願います。(オプションツアーの集合時間・場所は後程ご連絡します。)
- 11/13(金)～11/14(土)の町民ホールから然別湖畔温泉の往復は送迎バスも用意しています。(町民ホールの駐車場利用可) 飲酒運転は絶対におやめ下さい。

◎宿泊は、然別湖畔の温泉宿です(1泊朝食付 6,000円)。自家用車/送迎バス(無料/事前予約要)で移動。

11月14日(土)

- 9:30～12:00 しかおいオプションツアー② 1コース
鹿追の自慢視察見学バスツアー
～先着40名限定(参加無料)
バイオガスプラント十余熱マングローブ&チョウザメ、コントラ大型農業機械車庫、神田日勝記念美術館等をバスで巡ります。
ガイド/NPO法人北海道ツーリズム協会



鹿追町は環境に配慮した循環型農業を目指し、国内最大のバイオガスプラントを保有しています。コージェネ発電機2基により発電された電気はプラント内での利用され、余った電力は売電しています。現在、余剰熱を活用した事業も積極的に取り組み、チョウザメ飼育やマングローブ栽培にもかかれています。また、鹿追町は芸術・文化にも力を入れており、鹿追町を代表する具象の農業画家「神田日勝」の作品も記念美術館で大切に保管、公開されています。

北海道グリーン・ツーリズムフォーラム in しかおい：式次第



11月13日(金)

【開会式】

- 13:00～ ①実行委員長あいさつ ②来賓あいさつ

【講演会～分科会】

- 13:15～14:35

講演 山崎雅生氏(元イタリア日本大使館一等書記官)

【テーマ】

「地域まるごと分散型ホテル」の取り組みによる地域活性化

既存の建物(空家・空き部屋)、飲食店、商店等を活用して、集落まるごとを分散型ホテルとして再生する仕掛け「アルベルゴ・ディフゾ」が、過疎の進むイタリア各地で100カ所に達する見通しとのこと。北海道の農山漁村においても、宿泊キャンプを増やして都市との交流人口を拡大し、その滞在交流によって外貨を獲得して雇用を拡大すること、ファンになってもらってふるさと納税等をお願いすること、いずれは季節移住、移住に結び付けていくことを目指す「地方創生」のモデル的な取り組みとして学びましょう。

- 14:40～16:00

講演 中村功芳氏(倉敷ゲストハウスくま座有鄰庵庵主)

【テーマ】

「地域のプライドを発信する起業の場としてのゲストハウス」

中村氏は旅人が集う「ゲストハウス(廉価の旅人宿)」のカリスマ。倉敷の美観地区で、世界から観光客が集まり、ヘルパー希望者が半年以上も順番を待っているという宿のオーナーです。中村氏が開くゲストハウス開業塾には、全国からゲストハウス開業希望者が集まるとのこと。地域のプライドを発信することで、観光客と地域の懸け橋となり、地域活性化の核となる宿泊施設の開業・経営について語ってもらいましょう。

- 16:15～17:30 ※各分科会に分かれてのディスカッション

分科会

- テーマ①「イタリアのアグリ・ツーリズムに追いつけ追い越せ～北海道ならではのグリーン・ツーリズムを考える」
- テーマ②「農山漁村にゲストハウスを!ゲストハウス開業希望者のための情報交換会」
- テーマ③「ワンストップでお客をお迎えする“観光地域づくりコーディネーター組織”について」
- テーマ④「女性、若者が取り組むこれからのグリーン・ツーリズムについて」

- 【大交流会】 ■18:00～

GREEN TOURISM FORUM HOKKAIDO in SHIKAOI